


教材事例書式

教材教具名 「あ～ん。ぱくっ」	教科（算数）	情報提供者（小学部1年生）
教材教具写真		
		
教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
1 ねらい	形を意識して分けることができる。	
2 発達段階など	操作することを通して数や量を認識する時期（2）	
3 使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○、△、□の型を丸のブタ、三角のかえる、四角の牛の口の中に見分けて入れる。 ・ 始めは箱のそばに型を置いておき、教師が見本を示す。 ・ 興味をひくために「あ～ん。ぱくっ」の言葉とともに口の中に入れる動作をする。 ・ 形の同じものを渡して入れる。 ・ 複数の形を持たせて入れる。 ・ すべての形を混ぜて渡し、入れる。 	
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）		
<p>型わけを食べさせるという活動にしたことで興味をもち、弁別することができた。同じ形を口に入れなければならないという必然性にかけていたので、口の形をもっと工夫して、○、△、□だけに対応できるものを作ればよかった。</p>		